

結

絞首台の鐘が、からころ鳴っています。
あなたが愛したひとの体が、揺れています。

「どうして」

愛した人の口元は、薄く笑んでいました。
まるで、愛しいあなたを守り切ったことを誇るかのよう。
それは、あなたが考えうる限り、一番の地獄のような景色でした。

「どうして、あなたが死ななきゃならないの」

魔女／リタは、世界中から見放されたあなたを救ってくれた、
誰より優しい善き魔女でした。

あなたの寂しさを癒し、あなたを愛してくれた、
たった一人あなたが愛したひとでした。

「ごめんね、私もすぐに行くから」

あなたはナイフを手に取ります。
そうして、ためらうことなく自らの喉に突き立てました。
あなたと愛する人との絆は、死すら別てはしないのでしょうか。

+++++

END-LR-3：『終る世界』